

一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

中学校の国語の授業を見に行きました！

4月26日（月）の6時間目、小学校の国語専科の吉成先生と中川で、中学校の国語担当である石崎博子先生の中学1年生の授業の様子を見に行きました。習った漢字の小テストをやり自分で丸つけをして確認したあと、教科書の「シンシユン」という物語の読み取りを行う授業でした。生徒たちは、登場人物の心情をワークシートに集中して書き、くじ引きで指名された人が読み取ったことを黒板に書き、考えを交流していました。

その数日後、小学校の吉成先生も「中学校でこうやっていたよ。」と紹介しながら、同じようにワークシートに書かせ、くじを使って指名して、前に出て黒板に書かせる授業を6年生で行っていました。

これからも折を見て、小学校と中学校それぞれが、どんな授業をしているのか、交流していきたいと思います。

第1回目の英語検定申し込み終了！

5月29日（土）に行われる新篠津中学校会場での「実用英語技能検定」には、中学校3年生3名、2年生1名、1年生1名、小学校6年生1名（他個人受検申し込み1名）、5年生1名の合計7名の申し込みがありました。

緊急事態宣言が出される中、実施について検討しましたが、予防対策を施しながら安全に実施できると判断しましたので、予定通り行います。受検する子には、5月12日にこれまで出された問題（過去問）を配布しました。また、試験の詳細について本日、担任の先生を通して渡しましたのでよろしくお願い致します。

次の検定は、7月18日（日）に「実用算数・数学技能検定」が予定されています。算数・数学の検定については、11級の「小学校1年生程度」のレベルから自分の力に応じて受検できるようになっています。中学生はもちろんのこと、小学生もぜひ力試しに受検してみてください。

また10月23日（日）には「日本漢字検定」があり、これも小学校1年生レベル（10級）から受検できるので、小学生にもたくさん挑戦してもらいたいと思っています。

これらの検定は、今、持っている力を試すという意味もありますが、受検に向けた学習をすることにより、より自分の力を高めることもできます。

ご家庭でもぜひ挑戦してみるようお子さんの背中をおしていただければ幸いです。

小学校算数と中学校数学をつなぐ



写真は、5月12日（水）1時間目の6年生算数の様子です。タブレットでデジタル教科書を使いながら、「数量の関係を文字を使って表す」学習を「道のり」「時間」「速度」の関係から文字を使って立式し、答えを求める学習を行いました。

一貫教育推進員として3年前に配属された福山先生が小中学校を行きし、小学校の算数の学習と中学校の数学の学習をつなげています。

算数は、積み重ねの学習です。これまでに学習したことをもとに、新たな知識や概念を生み出し、身につけていく教科です。小学校の算数で学んだことをもとに、中学校では数学として学習していくので、小学校・中学校それぞれの指導方法ができるだけかい離しないようにしていくことは、とても大切なことです。今日6年生が学習したことも中学校1年生ですぐに「文字と式」として学ぶことになります。

小学校でどんな指導をし、どのような積み上げをしてきているのか。そして、その積み上げを生かしながら中学校でどのように指導していくのか。小学校から中学校への指導をつなげていくことは、小中一貫教育のねらいの一つでもあります。

6年生担任の酒井先生も福山先生と指導について相談しながら学習を積み重ねてきています。この日も冗談で、「福山先生に怒られるから、数直線も使って考えるよ。(笑)」と子どもたちに二つの数直線をもとに考えることも促していました。



福山先生は、中学校で長年、数学の教師をしてきた数学の専門家です。小学校に来ては、高学年の担任の先生と算数、数学の指導について、専門的な視点から授業について意見を交流しています。



また授業中には、問題がわからなかったり、どうやっていいか解答の見通しが立たなかったりしている児童にも専門的な見地から中学校の指導を意識しながら助言や考え方のヒントを与えています。

これからも継続して取り組んでいきます。

(文責 中川)